

No.	発表者氏名	発表者所属	演題名
12/9(土)13:00～13:40 【精神】 座長:大下 伸子(のぞみの丘ホスピタル)			
KK1-1	桂川ゆい	社会医療法人緑峰会 養南病院	A精神科病院の長期入院患者に対する転倒予防の取り組み
KK1-2	鷺野史知	社会医療法人緑峰会 ぎふストレスケアクリニック	精神科デイケア利用者の適応度の違いによるプログラム試案～利用者のニーズ調査から～
KK1-3	中村文音	総合心療センターひなが	精神科重度慢性期病棟における統合失調症患者に対する集団作業療法-集団を利用した効果の検討-
12/9(土)14:00～15:00 【ADL①】 座長:池本 謙志朗(嶋田病院)			
KK2-1	國枝拓麻	医療法人社団豊正会 大垣中央病院	趣味活動再開が非利き手の拘縮改善とQOLの向上に繋がった一症例
KK2-2	藤田萌生	河村病院	長年調理師として勤めていた人工透析、重度脳卒中患者の自宅退院まで～麻痺側上肢を使用し調理活動獲得に向けた離床時間の延長～
KK2-3	巻野太星	医療法人珪山会 鶴飼リハビリテーション病院	認識の変化がADLに影響を与えた一例 -OPAT6を用いて-
KK2-4	北田楓芽	大垣市民病院	YouTube投稿という生きがいの力～急性期から「意味のある作業」を用いる意義～
KK2-5	宮崎崇斗	天竜すずかけ病院	調理動作再獲得を目指した事例-ADOC-HIによる目標設定を通して-
12/9(土)15:20～16:20 【身障①】 座長:森 伊津子(ソフィアメディ訪問看護ステーションサテライト高岡)			
KK3-1	櫻木裕夢	医療法人和光会 山田病院	機械学習を用いたバランス機能に影響を及ぼす要因の検討
KK3-2	今岡泰憲	松阪市民病院	大腿骨近位部骨折患者における骨密度と虚弱の関連についての検討
KK3-3	今井亮貴	国民健康保険 飛騨市民病院	嚥下反射惹起遅延に対する干渉波電気刺激治療の有効性について
KK3-4	清水柚乃	特定医療法人衆済会 増子記念病院	頸椎症性脊髄症術後にてADLが低下したがNCSSの活用により復職に至った長期透析患者の1例
KK3-5	木下寛明	河村病院	自立度の高い在宅パーキンソン病患者一例に対するLee Silverman Voice Treatment®BIGの効果～身体活動量の変化がみられた症例
12/9(土)16:50～17:50 【ADL②】 座長:堀江 翔(金沢大学附属病院)			
KK4-1	山浦蓮華	大垣中央病院	ストマ便破棄を含めたトイレ動作獲得に向け介入した一症例
KK4-2	河内扶紀	岐阜県立多治見病院	両側の根治的頸部郭清術を施行した高齢者に対する家事動作獲得を目標にした作業療法
KK4-3	中森康介	三重北医療センター 菰野厚生病院	大腿切断患者に対する入院時の床上訓練が退院後の外出に繋がった一例
KK4-4	久納健太	医療法人和光会 山田病院	排泄動作の自立度に及ぼす影響～機械学習を用いた予測因子の検討～
KK4-5	西嶋隼太	河村病院	当院回復期リハビリテーション病棟における超高齢患者の退院時FIMが転帰先に与える影響
12/9(土)12:00～13:00 【身障②】 座長:金森 雅幸(福井総合病院)			
KD1-1	渋谷玲二	朝日大学病院	生活行為向上マネジメントを他職種と共有したことにより、退院後生活に向けて包括的な視点でかかわることができた事例
KD1-2	中野美稚	関中央病院	危険認識が低下している対象者にMTDLPを用いたことで行動変容を促した事例
KD1-3	舟見安理佐	金沢脳神経外科病院	MTDLPを用いて意味のある作業を見出し一人暮らしの再開に繋がった一例～医療機関から地域へ多職種連携による退院支援～
KD1-4	倉西菜摘	金沢脳神経外科病院	末期癌で余命宣告されていた脳梗塞患者に対して、MTDLPを用いて最期まで孫や馴染み客との関わりを目指した事例
KD1-5	田家澤菜実	芳珠記念病院	脳梗塞により左片麻痺を呈しADLに介助が必要となった事例の介護者となる妻への支援

No.	発表者氏名	発表者所属	演題名
12/9(土) 13:20~14:10 【脳血管・高次脳機能①】 座長: 栗田 洋平(聖隷クリスファー大学)			
KD2-1	平野天裕	農協共済 中伊豆リハビリテーションセンター 訪問看護ステーションあおぞら	プッシャー現象を呈した症例に対して体性感覚を利用した段階的なバランス訓練によりADL拡大が図れた1事例-3次元動作解析装置を用いた動作解析の経過報告-
KD2-2	水戸裕貴	藤田医科大学 岡崎医療センター	三次元動作解析装置を用いた片麻痺運動障害評価と既存の順序尺度との関連
KD2-3	渡邊立志	脳卒中・身体障害専門就労支援センター リハス丸の内	就労移行支援の利用者に生じる作業機能障害の特徴～脳卒中・身体障害を中心とした調査～
KD2-4	澤木芹奈	藤田医科大学 七栗記念病院	回復期リハビリテーションにおける半側空間無視患者の訓練内容調査
12/9(土) 14:20~15:10 【内部障害】 座長: 護摩堂 秀之助(富山リハビリテーション医療福祉大学)			
KD3-1	金田拓実	聖隷三方原病院	心臓血管外科手術を行った患者に対し病前生活獲得を目標に介入した症例
KD3-2	岡本崇志	浜松医科大学医学部附属病院	頸部郭清術後副神経麻痺患者における作業療法一満足度・遂行度に着目した症例一
KD3-3	勅使河原優季	社会医療法人杏嶺会 一宮西病院	心臓血管術後にせん妄・四肢筋力低下を呈した症例の摂食動作自立に向けての介入
KD3-4	萩野勝也	医療法人社団友愛会 岩砂病院・岩砂マタニティ	陳旧性心筋梗塞患者に対し、心肺運動負荷試験を用いて就労支援を実施した一例
12/10(日) 9:30~10:30 【身障③】 座長: 鈴木 めぐみ(藤田医科大学)			
KK5-1	川原志穂莉	財団法人正友会 中村記念病院	独居生活で転倒を繰り返し、右橈骨遠位端骨折受傷に至った一症例 -他職種協同での受傷原因の分析と作業療法の専門性を生かした動作練習を通じて-
KK5-2	政井俊磨	羽島市民病院	褥瘡対策に関する院内研修会の効果と今後の課題
KK5-3	野村あさひ	大垣市民病院	ショック期に関わる作業療法士の対応の検討
KK5-4	廣田佳菜子	浜松医科大学医学部附属病院	左上肢弛緩性麻痺を呈した小児に対する作業療法の役割一困り事のなかった小児がHOPEを表出するまで一
KK5-5	大野萌菜	社会医療法人厚生会 中部国際医療センター	慢性痛により活動意欲が低下した症例に対する作業療法
12/10(日) 11:40~12:40 【生活期】 座長: 麦井 直樹(金沢大学附属病院)			
KK6-1	明福真理子	能美市介護老人保健施設はまなすの丘	独居高齢男性の転倒骨折後の痛みと恐怖心に配慮した段階的な移動手段の変更と趣味活動再開を動機づけにした通所リハでの介入
KK6-2	加藤ちなみ	藤田医科大学 地域包括ケア中核センター 訪問看護ステーション	ADL動作「練習」を「習慣化」するには
KK6-3	芥川比呂	医療法人珪山会 鶴飼リハビリテーション病院	意欲低下のある患者と自宅退院に不安のある妻に対して家屋訪問前後でチェックリストを使用し認識に変化を与えた一例
KK6-4	中野 匠	医療法人瑞心会 渡辺病院	認知行動療法により自宅退院と就労継続支援サービスの再開に至った義足を作製した精神疾患を有する一症例
KK6-5	森 義弘	介護老人保健施設 あいかわ	コロナ禍でのフォロー ～夫婦の快適な在宅生活を目指して～
12/10(日) 13:00~13:50 【ハンドセラピー・スプリント①】 座長: 秋山 恭延(浜松医科大学 医学部附属病院)			
KK7-1	松永晃奈	順天堂大学医学部附属静岡病院	患者の協力が不十分でも手指屈筋腱損傷修復後の癒着と再断裂が最小限であった症例 -多職種と連携しクライナート療法を適切に行う工夫を通して-
KK7-2	小林亜里沙	金沢大学附属病院	TTRアミロイド沈着を認めた両側手根管症候群例の作業療法経験
KK7-3	小坂温子	医療法人社団豊正会 大垣中央病院	長期間の固定を必要とした橈骨遠位端骨折の一症例一ダーツスロー・モーションと握力に着目しUseful Handを目指して一

No.	発表者氏名	発表者所属	演題名
KK7-4	工藤雄介	社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院	装具療法 of 動的腱固定効果により母指IP関節自動伸展制限を呈した一例
12/10(日)14:10~1:00 【ハンドセラピー・スプリント②】 座長:竹内 佳子(星城大学)			
KK8-1	小森健司	社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院	積層造形技術とスプリント材を活用した自助具の作製や住環境整備について
KK8-2	保谷海斗マフラ	順天堂大学医学部附属静岡病院	肘関節脱臼骨折後の伸展制限に対して, 静的漸次的装具が有効であった症例
KK8-3	浅井麻衣	社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院	中枢神経性麻痺者に対する上肢スプリントラインナップの変遷について
KK8-4	堀江 翔	金沢大学附属病院	アルミ素材とsplint材を併用したstatic progressive splintの試み
12/10(日)9:30~12:10 【脳血管・高次脳機能②】 座長:山本 泰雄(鈴鹿医療科学大学)			
KD4-1	鈴木雄介	医療法人光生会 赤岩病院	前頭葉神経腫瘍に伴い社会行動障害を認めた症例-拒否により就労支援利用に向けたアプローチに難渋した経験-
KD4-2	天木 蓮	医療法人瑞心会 渡辺病院	脳室内出血後に高次脳機能障害が残存し病前生活の再獲得に難渋した一症例
KD4-3	堀川玲希	珪山会 鶴飼リハビリテーション病院	高次脳機能障害に対し病識がない症例に対する介入メモリーノートを用いたフィードバック(FB)による気づきの向上
KD4-4	青野実乃里	医療法人社団清明会 静岡リハビリテーション病院	自己洞察が困難な症例に対し, 他者交流を通して体験的な気づきを促した一症例
KD4-5	新海弘宗	関中央病院	当院でのドライブシミュレーターを用いた自動車運転支援方法の標準化を目指す取り組み-HONDAセーフティナビを用いて-
12/10(日)11:20~12:10 【脳血管・高次脳機能③】 座長:宮坂 裕之(藤田医科大学七栗記念病院)			
KD5-1	近藤貴紀	河村病院	徹底した上肢管理により疼痛が消失して退院が可能となったPHSを有した脳卒中例
KD5-2	鈴木裕也	島田市立総合医療センター	介入を変更したことで生活リズムが改善し復職に至った一例
KD5-3	小原 歩	医療法人財団善常会 善常会リハビリテーション病院	重度麻痺を呈した片麻痺患者に対しHome Skill Assignmentを中心とした複合的介入で日常生活における麻痺手の参加向上と肉じゃがを作る調理が行えるようになった一事例
KD5-4	池谷颯一郎	浜松医科大学附属病院	急性期脳卒中重度上肢麻痺患者に対する麻痺手使用日記を用いた関わり